



HICE

News

No.430
SUMMER
2023

Hamamatsu Foundation for International Communication and Exchange
Fundação Internacional de Hamamatsu

公益財団法人 浜松国際交流協会 (HICE)

2023年夏号



浜松市外国人学習支援センター 多文化体験講座

「校外学習 イノベーションロード(ヤマハ企業ミュージアム)」
を見学して、音楽のまち浜松を知ろう!

2023年5月24日(水)、浜松市外国人学習支援センター(U-ToC)の多文化体験講座「校外学習 イノベーションロード(ヤマハ企業ミュージアム)」を見学して、音楽のまち浜松を知ろう!を開催しました。今回の校外学習では、U-ToCの日本語教室に通う学習者が日本語ボランティアと共に、音楽のまち浜松にゆかりのある施設を訪問し、日本語教室で学んだ日本語を使って会話をしたり、共通の体験をしたりすることによって交流を深め、浜松の人・まちに関心を持つことを目的としています。

当日は、中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、インド、パキスタンの計6か国の学習者を含む、総勢28人が参加しました。施設では、ガイドの方の説明を受け、迫力のある映像や音楽を体感したり、楽器を弾いたり、触ったり、様々な体験を通して参加者が楽しみながら交流を深めました。帰り道には、多文化共生センターに寄り外国人相談窓口について説明を受けました。当日の様子はYouTubeで配信する予定です。ぜひご覧ください!



浜松市外国人住民数

国 籍	人 数
ブラジル	9,710
フィリピン	4,304
ベトナム	4,053
中国	2,273
ペルー	1,783
韓国	1,019
インドネシア	1,302
その他(77国等)	3,054
総数(84国等)	27,498
浜松市総人口	790,402

住民基本台帳による
※総人口は外国人住民数を含む

2023年6月1日現在

詳しくはホームページをご覧ください



多文化共生センター ワンストップ相談コーナー ONE-STOP CONSULTATION CORNER SETOR DE CONSULTAS MULTILÍNGUE							
	げつ Segunda Monday	か Terça Tuesday	すい Quarta Wednesday	もく Quinta Thursday	きん Sexta Friday	ど Sábado Saturday	にち Domingo Sunday
Português / ポルトガル語	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～17:00	—
English / 英語	13:30～16:30	13:30～16:30	13:30～16:30	13:30～16:30	13:30～16:30	—	—
Tiếng Việt / ベトナム語	—	13:00～17:00	—	13:00～17:00	—	13:00～17:00	—
Filipino / フィリピン語	—	9:00～17:00	—	9:00～17:00	—	9:00～17:00	—
Español / スペイン語	—	—	—	—	—	13:00～17:00	—
中国語 / 中国語	—	—	—	—	—	13:00～17:00	—
Bahasa Indonesia / インドネシア語	—	—	—	—	—	13:00～17:00	—

7/15・7/27・8/19・8/31・9/16・9/28
申込み・問合せ: ☎053-458-2170

外国人のための無料弁護士相談 FREE

Free Consultation with a Lawyer

Free Legal Counseling Supported by Shizuoka Lawyers Association / 1-4pm (reserve three days in advance) / English, Portuguese, Indonesian, Vietnamese, Filipino, Chinese and Spanish supported. For other languages, please contact us. Limit : 6 People per day

Consulta Jurídica Gratuita
Cooperação- Ordem dos Advogados da Província de Shizuoka / Inscrição com antecedência mínima de 3 dias / Atendimento das 13:00 às 16:00 / Interpretes em português, inglês, espanhol, indonésio, chinês, filipino e vietnamita. Para os demais idiomas, consulte-nos.

●時間: 13:00-16:00 ●定員: 各回6名程度 ※3日前までに予約してください。●通訳: ポルトガル語、英語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語、中国語、その他(お問い合わせください)

7/8・8/5・9/9
申込み・問合せ: ☎053-458-2170

外国人のための無料行政書士相談と外国人と日本人の間の

トラブルの調停相談 (行政書士ADR) FREE

Free Consultations with a Certified Administrative Specialist for Foreign Residents & Administrative Scrivener - Alternative Dispute Resolution ADR
This consultation is for advice on procedures such as residency, the registration of vehicles, nationality and marriage as well as issues which may have occurred between foreign residents and Japanese people in your home, school, work or region due to cultural difference.

Consulta Gratuita com despachante para tramitação de documentos e mediação para resolução de problemas (despachante ADR)

Consulta sobre visto, naturalização, casamento, registro de automóveis; problemas familiares, na escolas dentre outros gerados por diferenças culturais entre japoneses e estrangeiros.

●時間: 13:00-16:00 ●定員: 各回4名 ※3日前までに予約してください ●内容: 在留資格、国籍、結婚、自動車登録などの手続きについての相談 ●通訳: ポルトガル語、英語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語、中国語、その他(お問い合わせください)

8/3・9/7・10/5
申込み・問合せ: ☎053-458-2170

名古屋入管による在留資格についての無料相談 FREE

Free Consultations on Status of Residence
Nagoya Immigration Bureau's and Residency Office Support Staff can advise you in person based on your individual case.

Consulta Gratuita com a Imigração de Nagoya
Orientações com o agente do setor de apoio ao residente da Imigração de Nagoya.

●時間: 13:00-16:00 ●定員: 4名 ※3日前までに予約してください ●通訳: ポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語、ベトナム語、インドネシア語、中国語、その他(お問い合わせください) ●内容: 名古屋出入国在留管理局の在留支援担当職員が個別のケースについて、直接相談にのります。



公益財団法人浜松国際交流協会 (HICE) (HICEは下記施設の事業運営を浜松市から受託しています。)

浜松市多文化共生センター
(HICE事務局)
TEL.053-458-2170 / 053-458-2185
FAX.053-458-2197
MAIL info@hi-hice.jp

浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4F
●開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)及び休館日を除く通年
●開館時間: 9:00～17:30 JR「浜松駅」北口から徒歩約10分



編集後記

先月までは晴れ間が出ると「それ!」とばかり外に飛び出していました。7月ともなると近年の夏の日差しが強さで「晴れているから外に出ない」方も多いのではないのでしょうか。外出の機会が増えた昨今、初めて日本の夏を体験する外国の方にも熱中症の怖さを伝えています。日光は健康に良いけれど、真夏はうちにといた方が健康的よね! とつぶやきながらアイスを食べています。本日2回目。(G)

イベント スケジュール

7/8・7/9
浜松ブラジル交流フェス
浜松ブラザプレスボ(浜松市東区上西町1020-33)



7/23・8/27・9/24
国際理解教育ファシリテーター
養成講座2023(入門編)

①世界と浜松の現状を「知る・考える」
②世界規模の課題について フェアトレード、環境など
③在住外国人との共生について 移民・難民受け入れ、多文化共生など



多文化共生センター

8/2・8/29
教職員のための多文化共生講座
(全4コマ) 第1～3回: 8/2(水) 9:15-12:15
第4回: 8/29(火) 13:30-16:30



第1～3回: 外国人学習支援センター / 第4回: 浜松市教育センター(北区東三方町143-4)

8/3・8/24・9/9・9/30
世界のダンス体験
みんなで体を動かそう!

①英語でダンス! ラテンリズムで心もからだもエクササイズ
②ペルーの健康ダンスでウノ、ドス、トレス! ※7/15申込開始



クリエート浜松 創造活動室 / 5階スタジオ

8/5
ケニア日和特別編「ルンダで義足を作る」
ルダシンワ真美さん、ガテラさん講演会



多文化共生センター

8/6
【国際理解ワークショップ講座】世界の戦争・
内戦から考える～日常生活で私たちに
できる「平和」への第一歩とは?～



多文化共生センター

8/26・11/18
日本語教室 ひらがな・カタカナ・
漢字クラス(南区)



白鷺協働センター(南区寺脇町241)

10/2・3/22
U-ToC 日本語教室
①第2期初級クラス: 10/2～3/22(全107回)
②第2期中級クラス(オンライン): 10/16～1/30(全64回)
③第2期読み書きクラス: 10/17～3/19(全40回)



①③外国人学習支援センター ②オンライン(Zoom)

10/15
グローバル人材セミナー「なぜ、日本人は
ソウを食べないのですか? ～食べものの多様性
から持続可能な世界のあり方を考える～」



クリエート浜松 1階ふれあい広場

日本語教師養成講座

一文化庁届出受理講座 420時間カリキュラム対応一

オンライン/通学 選べる学習スタイル

2021年日本語教育能力検定

合格率 **69.5%**

全国平均の **2.3倍**
受験者305名中212名合格

教育訓練給付制度指定講座

受講料の
最大 **20%**

上限 **10万円** が給付されます
※条件あり



日本語教師講座説明会 毎日開催! (無料/事前予約制)

①11:00～ ②14:00～ ③16:00～ ④19:00～

入学金50%OFF

Human ヒューマンアカデミー

浜松校 0120-490-192

静岡県浜松市中区鍛冶町140番地 浜松Cビル6階

イチオシ HICE 図書「難民の? (ハテナ) がわかる本」 木下理仁 著

世界の難民・避難民は1億人。いったいなぜ? 日本にも難民はいる? もしキミが難民になったら? そもそも難民ってなに?

2023年5月19日(金)「第1回留学生&メンター交流会」開催

HICEでは、令和5年度より浜松市の委託事業として、留学生のための「メンターによる相談」を行うことになりました。浜松市で働く先輩外国人がメンターとなり、留学生の就職や起業などの相談にのっていきます。

今回、「第1回留学生&メンター交流会」を静岡大学浜松キャンパスの佐鳴会館で開催しました。どんなメンターに、どんな相談ができるのか、実際にメンターに会っていただき留学生にメンター制度について具体的にイメージしてもらうことがねらいです。



メンターを囲んで話が盛り上がりしました

当日の天候はあいにくの雨。それにもかかわらず、12か国、27名の留学生が会場に集まり、インド、インドネシア、中国、バングラデシュ、ベトナム出身のメンターをグループごとに囲みながら熱心にメン

ターの話に耳を傾けたり、質問をしたりしていました。交流会終了後に留学生に行ったアンケートでは参加者全員が「また参加したい」「グループディスカッションでいろいろと話ができたのが良かった」と回答するなど、満足度が高い交流会となりました。

また、メンターにとっても実際に留学生がどんなことに悩んでいるのか、どんなことを相談したいと思っているのか聞くことができ、今後のメンターとしての活動に対し、ますます意欲を高めていただいたようでした。

留学生にとって、メンターとの交流や相談を通して学ぶことが、自分自身の将来について良い方向性を見つける糧となることを願っています。



経験豊富なメンターの皆さん

び 美と健康のエキスポ2023

4月16日(日)に、浜松市多文化共生センターにて「美と健康のエキスポ」をペルー人団体アソシアション・ヘスチオン・シウダダナとの共催で開催し、100人以上のスペイン語圏の人たちがセミナーや個別相談に参加しました。

主なテーマとしては老後に備えるための健康づくりやメンタルヘルス、がん予防、子どもの教育・発達などで、ニーズに合わせてペルー人専門家たちが浜松で大集合し、参加者それぞれが関心のあるブースに集まり、SNSでも大きな話題にもなりました。全国から集まったペルー人専門家の話を聞いたり、相談を受けました。

ペルー人栄養士のナカノ・ユリコ氏は健康で長生きするための体にやさしい食生活や高血糖値の危険性などについて語り、参加者は熱心に耳を傾ける様子が見られました。うつや不安の初期対応についてはスペインやメキシコで心理学を学んだロサ・エレナ・ミランダ・イバナケ氏が語り、子どもの発達障害などについては、心理士のグロリア・エステラ・ロサス氏が講師を務め、ペルーで発達支援学校を経営した経験を活かし、当日は多くのスペイン語圏の保護者への個別相談にも対応していました。

1990年代に来日しているペルー人の多くは徐々に高齢化が進んでいるため健康的なライフスタイルやメンタルヘルス関連のテーマについて関心が高まっており、当日は在名古屋ペルー総領事館からルイス・エスピノサ・アギリャ総領事も出席されました。



ペルー人心理士ロサ・エレナ・ミランダ・イバナケ氏



在名古屋ペルー総領事館ルイス・エスピノサ・アギリャ総領事

浜松市地域日本語教育シンポジウム ～ことばと共生～を開催しました。

5月20日(土)、クリエート浜松2Fホールにて、浜松市地域日本語教育シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、浜松市が文化庁「地域における日本語教育の総合的な体制づくり事業」を活用し実施したもので、HICEは浜松市から委託を受けて地域日本語教育の体制づくりに取り組んでいます。

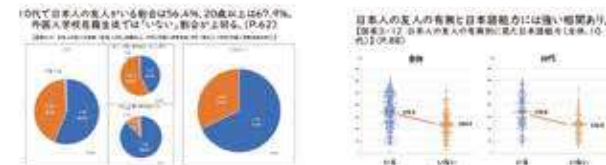
第1部：講演

これからの地域日本語教育には受入れ社会の態度が肝要

シンポジウムは2部制で、第1部では、文化庁日本語教育専門調査官の増田麻美子氏から「地域における日本語教育の在り方」について、その経緯や取り組みの内容等を詳しくお話いただきました。その後、早稲田大学大学院教授柳田直美氏からは、外国人は日本人の説明を聞く際に、「ゆっくり話す」「簡単な言葉を使う」という技術的な工夫よりも、「わかっているか確認する」「関心を持って話す」などの積極的な態度の方を高く評価しているという研究結果のお話がありました。

第2部：調査報告とアクションプランの説明

第2部では、昨年度行った「日本語能力調査及び日本語使用状況調査」の報告と、それに基づいて策定された「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン」の説明がありました。



～ことばと共生～をテーマにパネリストが意見交換

その後のパネルディスカッションでは、「ことばと共生」をテーマにディスカッションが行われました。武蔵野大学教授神吉宇一氏からは、ことばは目的にも手段にもなりうること、その上で、日本語教育を4つの領域に分けた俯瞰図を用いて



増田氏による「地域における日本語教育の在り方」解説

説明がありました。地域日本語教育を展開していく上では、こうした共通のイメージを用いながら関係者間で活動のデザインをすることが重要であることの確認がなされました。武蔵大学教授のアンジェロ・イシ氏からは、出入国在留管理庁

が行った「令和3年度在留外国人に対する基礎調査」を紹介していただきながら、ブラジル人回答者に注目した考察がありました。企業が日本語学習の場を提供する際に勤務時間を短縮するこ

とは収入減につながるため望まれていない、国や経済団体は中小企業が提供する日本語学習機会の場に対し資金援助をするべきだと提言がありました。国際課課長の松井由和氏からは、外国人をまちづくりのパートナーとして地域が受入れ、地域社会全体で多文化共生を推進する必要がある、そのための環境整



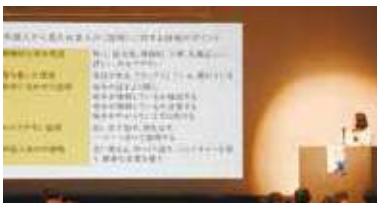
パネルディスカッション

備を行っていく旨の発言がありました。最後に、コーディネーターの嶋田和子氏が、調査結果報告書を引用し、多文化共生を進めていくためには、「制度の壁、言葉の壁、心の壁」のうち、私たちホスト社会側の心の壁を取り払わなければならないという発言で締めくくられました。

浜松の取り組みは他地域の参考になりうるか

アンケートの結果は好評で、「浜松市や国の多文化共生の取り組みに具体的にどのように関わり連携していけるか検討したい」「今まで経験したシンポジウムの中で、一番手ごたえのある内容だった」「浜松市が先陣をきって物事を進めていることに感動した」「日本語教育だけを考えていても共生の問題は解決しないことに気づいた」「地域日本語教育の最前線である浜松の事例は、今後他地域の参考になる」「調査結果は、今までイメージとして捉えていたものが数字として実証された」「また開催してほしい」などの声が上がりました。

久々の対面で開催されたシンポジウムは、会場のあちこちで語り合う姿が見られ、こうした余白の時間で生まれる交流があるのだと改めて思いました。今回のシンポジウムでは、多くの関係者が肌感覚で思っていたことが、研究や調査の結果から明らかになりました。引き続き堅実かつ着実に地域日本語教育を進め、皆が描く多文化共生社会の姿に近づけるよう貢献したいと思います。



柳田氏の研究「説明時における態度や姿勢を、聞く側は評価している」

インターカルチュラル・シティ：地域で活躍する外国人市民インタビュー（取材年：2021年）

株式会社マラナタ 代表取締役 呉 徳尚 さん

国籍もキャリアも色眼鏡ナシ 感謝・感謝の初仕事

「仕事が決まったときは自分でも驚きました。というより、本当かなと思いました（笑）」と当時を振り返る株式会社マラナタ代表取締役の呉徳尚さん。初仕事は浜松市のシンボルともいえる浜松城公園での壁面緑化でした。駐車場から園内に入る歩道の壁を、美しい緑で彩るのが今回の仕事。ピンク、白、黄など色鮮やかな花を織り交ぜながら緑豊かな壁を仕立てました。

「正直に言うと、この仕事は僕の営業能力で獲得したというより“もらった”という方が正解だと思います」。その理由に当時、呉さんの会社にはアピールできるような実績がなかったことを挙げています。「浜松城公園を管理している遠鉄アシストの担当の方はとても丁寧な話を聞いてくださって、僕が外国人であることも起業間もないことも躊躇なく真摯に対応してくださったんです。そのことが何よりうれしかったですね」。そして後日、呉さんに「契約を進めたい」との電話が入ったのです。

「このチャンスに感謝の気持ちを込めて、質の良いものを提供することを心掛けました。そして日本の会社で教わった5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を守り、仕事が終わった後は徹底して掃除をしました」。この誠実な仕事ぶりが実を結び、来園者には癒やしと笑顔がもたらされ、起業して2年経った今でも呉さんと遠鉄グループは良好な関係が続いています。

日本人のおもてなしに感激 植物で癒やしを届けたい

中国・山東省出身の呉さんは大学3年生のときに交換留学生として日本・福井県に。最初のカルチャーショックは空港での出来事でした。「当時の僕は日本語をまったく話せませんでした。バス乗り場が分からず、「バス、バス」と話しかけた相手はタクシー運転手さん。でも彼は僕をバス乗り場に連れて行き、目的地に着くバスに乗せてくれたんです。中国では考えられませんが、バスはタクシーの商売敵ですよ。中国なら自分のタクシーに乗せて「運賃、はい10万円」と請求してもおかしくないですからね」。日本人のホスピタリティ・マインドの高さに胸を打たれた瞬間でした。



浜松城公園の壁面緑化

在学中は機械工学を専攻。日本語の授業やロボット研究をする友達との会話の中で、日本語も上達してきました。その後、就職活動を経てスズキ株式会社への入社を機に浜松市に。サラリーマン生活をスタートさせ、マレーシア人の妻と穏やかな生活を送っていました。

30歳までに起業したいと考えていた呉さん。会社の上司に相談するも「コロナ禍に仕事を辞めることはないよ」と心配されました。本国でプラスチック工場を経営していた両親にも「環境問題から今後、プラスチックを取り扱うのはとても厳しい。計画を変更しなさい」と反対されました。ただ、呉さんは「コロナ時代だから、みんな癒やしを求めている。今がチャンスだ」と考えていました。両親は農業も行っていたため、植物がとても身近にある環境で育った呉さん。生き物に携わる厳しさと苦労はもちろんのこと、草木が成長するエネルギーや花の美しさ、加えて育った時の達成感も同時に知っていたのです。



創業支援に手厚い浜松市 市長の言葉に心強さを実感

熟考の末、最愛の伴侶の快諾を得てサラを決意。2年前、壁面緑化を事業の柱に創業しました。今でも苦労しているのは「敬語」です。もう、本当に難しくとても大変です。商談中も間違えたまま話しているのかもしれませんが、気づいていないから直しようもないんです（笑）。それでも仕事を続けられているのはお客様に助けられていることだと思って感謝しています。

また、創業時に実感したのは浜松市の環境の良さ。「この町はベンチャーやスタートアップに対する支援がとても手厚いですね。浜松市が主催するスタートアップのイベントに

参加した時の話ですが、参加者の中には高校生もいて、決して本業とは言えない人たちもたくさんいたイベントなのに浜松市長が会場にやってきてメッセージをくれたんです。信じられませんでしたし、とても心強く感じました」

事業サポートは日本の仲間 浜松を拠点に全国展開を目指す

新型コロナウイルス感染症の影響により、資材を輸入する船便が遅れたり、輸送費もコロナ前に比べて20倍もの高値になったり。「国籍が違うことを理由に『何もしゃべらず帰れ』と言われたこともあります。でも遠鉄さんやスズキさんの上司がそうであったように、そんな人たちがばかりじゃないことも知っています」。さまざまな困難にぶつかりながらも日本人の仲間に支えられながら営業活動を続けています。

現在は事業の二本目の柱として「垂直栽培」を展開中。移動できるイチゴの壁はイベントに引っ張りだこ。静岡市や愛知県の植物工場でも引き合いが出ています。「浜松は生活をするのにとても良い町なので、これから家族やお客様を大切にしながらこの地で仕事を続けていきたいと思っています」



浜松市長を訪問（当時）



呉 徳尚（ウー デイシャン）
中華人民共和国出身。2011年に交換留学生として来日。スズキ株式会社への就職を機に浜松市へ移住。2020年に同社を退職後、壁面緑化や次世代農業を手がける株式会社マラナタを起業。

あなたも日本語教師になりませんか？
〈日本語教師養成講座〉

詳しくはコチラをCHECK! /

学校法人 静岡理工科大学
浜松日本語学院
Hamamatsu Japan Language College

浜松市中区中央 3-10-8
浜松日本語学院
(担当：松葉／鈴木)

Tel. 053-450-6590

浜松市地域日本語教育推進アクションプランとは

浜松市多文化共生都市ビジョン（第3次計画期間：2023～2027年度）の5つの重点取組の1つに「総合的・体系的な日本語教育の推進」が取り上げられました。浜松市地域日本語教育推進アクションプラン（2023～2027年度）には、多文化共生都市ビジョンを確実に実現させるための具体的なアクションが記載されています。

アクションプランのビジョンは3つ!!

- 日本語教育の質の維持向上
- ライフステージ・コースに応じた日本語学習機会の提供
- 広大な市域をカバーする地域展開

今後5年間のロードマップには、29の具体的なアクションと目標があります。

- 生活Can doを用いた浜松版生活日本語カリキュラムの開発と実施（2-1-1）※数字はロードマップの番号を表しています。
- 次世代の言語習得支援をするために放課後日本語教室や、次世代日本語学習支援基金（仮称）の創設（2-2-3、2-3-1、2-4-1、2-4-2、4-3-2）
- 学習支援を通じた交流を促進するための多様な担い手の育成（1-3-1、1-3-2、2-1-2、2-2-2、2-3-2、3-2-1、3-3-2）

浜松市地域日本語教育推進アクションプランは以下のリンクからダウンロードできます。ぜひ覗いてみてください！
https://www.hi-hice.jp/ja/for-supporter/material-download/

アクションプラン策定の基礎データとなった「日本語能力調査及び日本語使用状況調査」のダウンロードは以下からできます。
https://www.hi-hice.jp/ja/for-supporter/material-download/#jpnoryokujokyu

日本語で困っている外国人社員の方へ

あなたに日本語教師、派遣します!

ご要望に合わせたカリキュラムをオーダーメイド。まずはお電話を!

(担当：松葉／鈴木)
学校法人 静岡理工科大学
浜松日本語学院
Hamamatsu Japan Language College

Tel. 053-450-6590

HICE 浜松市多文化共生センター 紹介動画

浜松国際交流協会公式YouTubeチャンネル
Consultation Hamamatsu

Yasashii Nihongo やさしい日本語

Triêng Việt ベトナム語

Português ポルトガル語

English 英語

Filipino フィリピン語

日本語